

ATTACK 4YWD-2.4G

FOR 4CH RADIO CONTROL MODELS

TAMIYA

タミヤ4チャンネルRCシステム ATTACK 4YWD-2.4G 取扱説明書

この度はATTACK 4YWD-2.4Gをお買い上げいただきましてありがとうございます。

このシステムは2.4GHz帯スペクトラム拡散方式を採用した製品のため、従来のように周波数バンドを気にすることなく同時走行が可能です。

●本取扱説明書はATTACK 4YWD-2.4G(送信機・受信機・サーボ)の説明書となっています。お買い上げのセット内容をよくご理解いただき、操作の前に本説明書を必ずお読みください。また、お読みになった後も大切に保管し、必要な時にお読みいただき、ラジオコントロールシステムを安全にご利用ください。

2.4GHzシステムを安全にご利用いただくための基本的な注意事項

- ご使用の際は製品に付属の取扱説明書や注意書をよく読んでください。
- 当システムは電動カー及び電動タンク専用です。エンジンカーには使用できません。
- 当社マルチファンクションコントローラユニット、DMDユニットとの組み合わせでFutaba製R204GF-E受信機は使用できません。
- 2.4GHz周波数帯はRC(ラジオコントロール)専用の周波数ではありません。この周波数帯は電子レンジ、無線LAN、デジタルコードレス電話、オーディオ、ゲーム機や携帯電話のBluetooth、VICSなどの近距離通信に利用されるISM(産業・科学・医療)バンドと共に共用されているため、都市部では2.4GHzシステムの操縦レスポンスが低下する可能性があります。また、アマチュア無線、移動識別用構内無線にも使用されているため、これらの影響に注意して使用してください。なお、既設の無線局に有害な電波干渉を与えた場合は、速やかに電波の送信を停止し、干渉回避対策を実施してください。
- 走行場所では、送受信機に影響を与える可能性のある機器の使用は最小限にし、事前に安全性を確認するようしてください。また、施設の管理者の指示に従ってください。
- 同一走行場所では、同時に使用する2.4GHzプロポの台数を15台以内にしてください。同時に使用される2.4GHzのプロポの台数がわかるように施設のボード等を利用してください。
- 建物や鉄塔、樹木などの後ろを走行させ、電波の到達方向をしゃへいすると、操縦レスポンスが低下したり操縦不能になる場合があります。常に目視で確認できる範囲で走行をしてください。
- 日本国内では、電波法に基づく技術基準適合証明試験を受け、認証番号を記載した認証ラベルが外から見える場所に貼られているプロポでないと、使用できません。ラベルをはがしたり、汚したりしないでください。
- 海外からの輸入品等の場合で、上記認証ラベルが貼られていないプロポの使用は電波法違反になります。
- (財)日本ラジコン電波安全協会(RCK)は、RCの運用を安全に行っていただくための啓発を行っています。同協会の名称の入った認証ラベルが貼られているプロポをご使用ください。

2.4GHz送信機操作時の注意事項

- 送信機のアンテナには構造上、電波の弱い方向があります。(P2を参照して注意してください。)
- 走行中は送信機のアンテナ部(内蔵)を握らないでください。また送信機のアンテナ部に導電性の板やステッカーなどを貼らないでください。
- ★電波の出力が弱くなるため、受信距離が短くなり危険です。
- 他の2.4GHzシステム等からのノイズの影響により電波が届かなくなる場合があります。ご使用前の動作テストや、使用中にこのような状況がある場合は使用を中止してください。

2.4GHz受信機搭載時の注意事項

- 振動が大きい場所、電気ノイズ・機械ノイズが多い場所への搭載は避けてください。
- 強い衝撃や振動を与えないでください。厚手の両面テープなどを使用し防振対策をおこなってください。

★お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止し、安全に楽しくご使用いただくために、下記の注意点を必ずお守りください。なお、取扱説明書中のマーク(△)は重要な注意事項です。必ず実行してください。

●登録証明ラベルを剥がさないでください。登録証明ラベルが貼られない送信機を使用すると電波法により罰せられます。

●受信機(R204GF-T)に使用する電源は、必ず4.8~6Vで使用してください。

★受信機用電源には、乾電池を使わないでください。

★タミヤ製ESC TEU-101BK、TEU-104BKは使えません。

●模型用以外に使用しないでください。

●本製品を海外で使用する場合、その国の電波法で認可されていないと使用することができません。

模型以外の用途で使用するには、輸出貿易管理令で規制される場合があり、輸出許可申請等の法的手続きが必要です。



●走行させる前に保護者の方といっしょに説明書をよくお読みください。

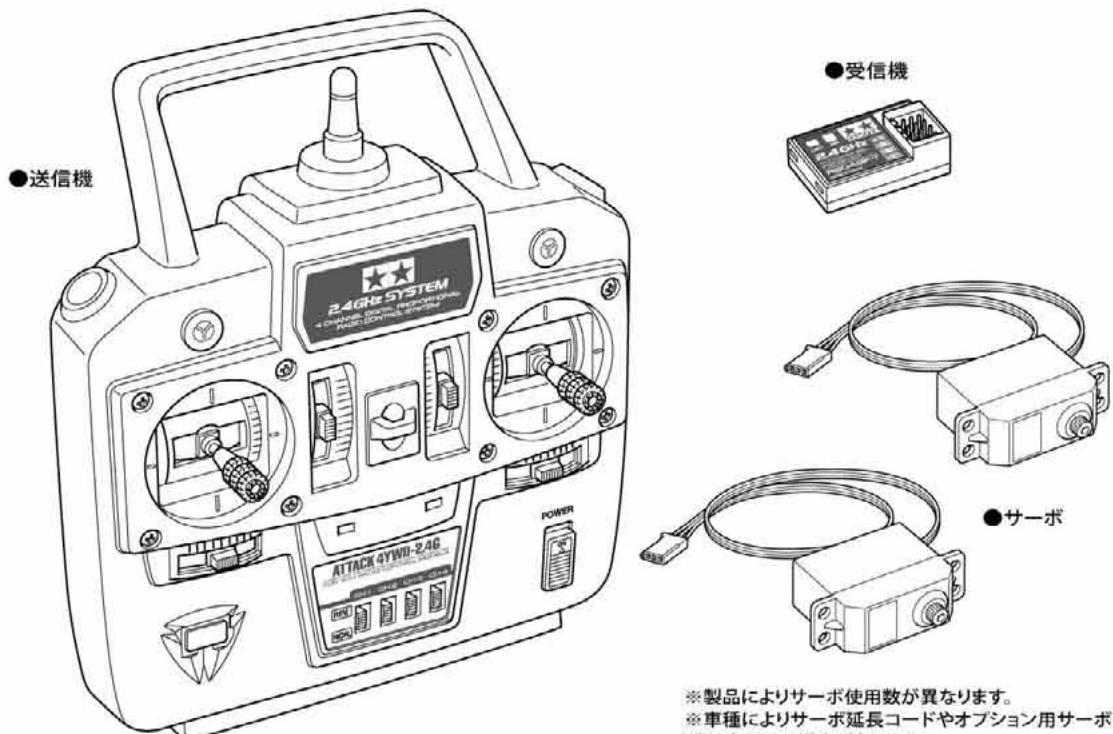


●小さな子供のいる場所での操作はしないでください。



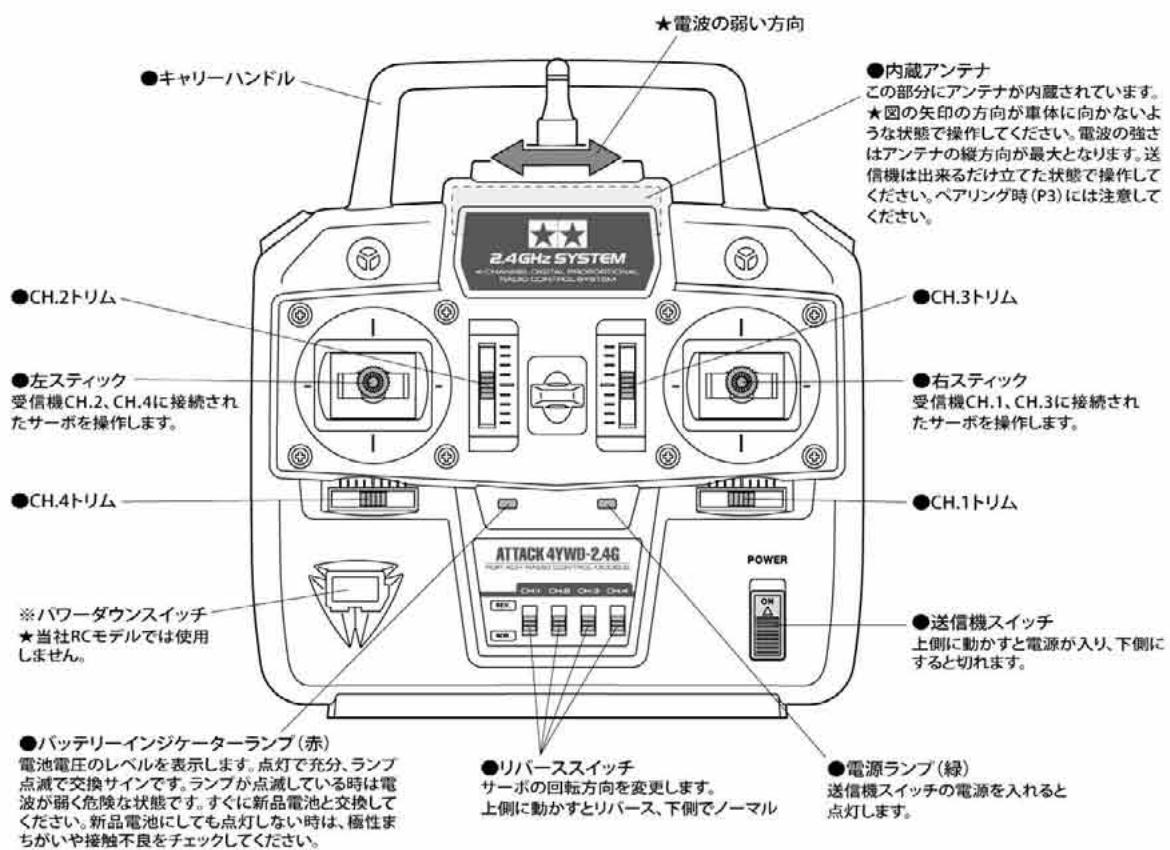
●プロポセットの分解、改造は絶対にしないでください。

《ATTACK 4YWD-2.4G 4チャンネルRCプロポセット》



※製品によりサーボ使用数が異なります。
※車種によりサーボ延長コードやオプション用サーボが別途必要な場合があります。

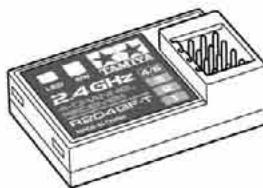
送信機各部の名称



各部の名称

●受信機(受信機アンテナ内蔵)

送信機からのコントロール電波を受け、パルス信号に変換して、サーボ・ESCへ送ります。



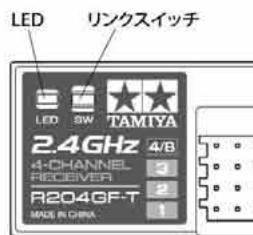
●リンクスイッチ

ペアリングを行うときに使用します。

●LED

受信機の状態を表示します。信号が受信できている場合は点灯、受信できていない場合消灯します。

	LED
受信なし	消灯
受信状態 正常(ID設定完了)	点灯
受信状態 (ID設定前、又は不一致)	点滅



★CH.1:右スティック左右操作(1ch・ステアリング)のサーボコネクターを接続します。

★CH.2:左スティック上下操作(2ch・スロットル)のサーボコネクターを接続します。

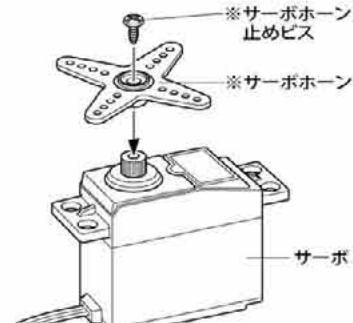
★CH.3:右スティック上下操作(3ch・ホーン)のサーボコネクターを接続します。

★CH.4/B:左スティック左右操作(4ch・シフトエンジン)のサーボコネクターを接続します。

★搭載するRCモデルの配線指示に従ってください。

●サーボ

受信機からのパルス信号を受け、RCカーのステアリングを動かす役目をします。



※サーボホーン、止めビスなどは車両キットに付属のものをお使いください。

●ESC

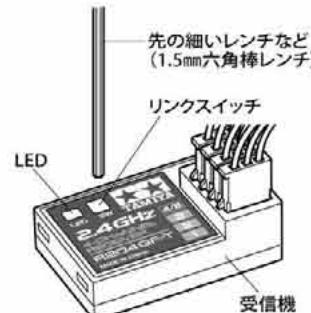
電動RCカーの前後進のスピード、停止、ブレーキをコントロールします。お求めになったESC用説明書をごらんください。

受信機にIDを読み込ませる方法 (出荷時にはペアリング済みです。)

ペアリング

以下の操作により、送信機のID番号が受信機に読み込まれます。このID番号の識別により2.4GHzシステムは他の送信機からの信号を受け付けません。このID番号の読み込み操作と同時にフェイルセーフの動作量の設定も行われます。

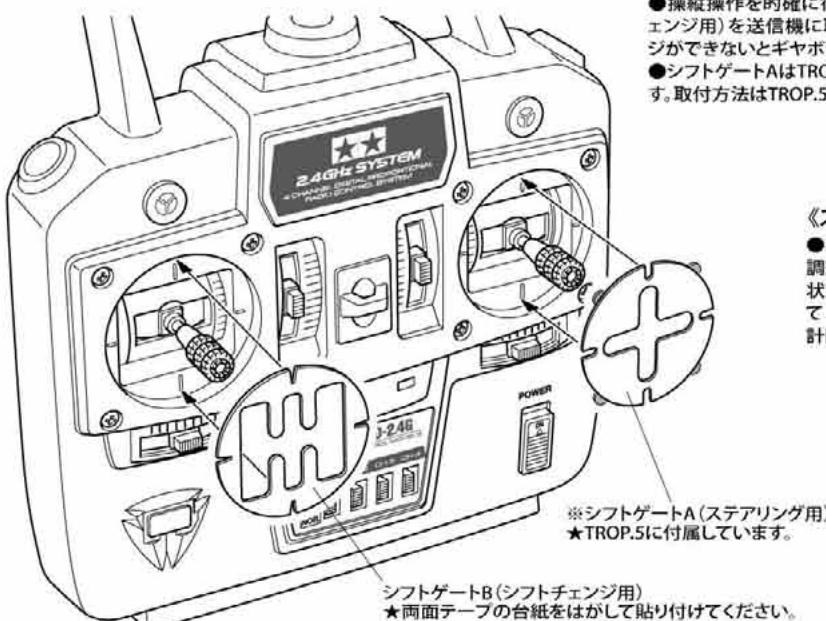
1. 送信機のアンテナ部分と受信機を10cm以内に近づけます。
2. 送信機の電源を入れます。
3. 受信機の電源を入れます。
4. 受信機のリンクスイッチを押しつづけます。
5. ペアリングが完了すると、受信機のLEDが緑点灯します。



▲モーターが接続されている状態やエンジンのかかっている状態で、送信機と受信機のペアリングを行わないでください。

★受信機の周囲に多くの2.4GHz送信機がある場合、お手持ちの送信機とペアリングが行われない場合があります。この場合、たとえ受信機のLEDが緑点灯していても、受信機は他の送信機とペアリングされた可能性があります。この状態に気付かないと大変危険です。お手持ちの送信機に受信機が正しくペアリングされているか、サーボを動かすなどして確認してください。

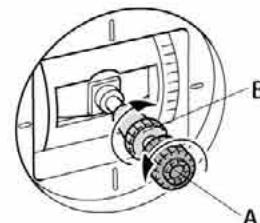
《RCTRトレーラー用プロボ・シフトゲート》



- 操縦操作を的確に行なうために、必ずシフトゲートB(シフトエンジン用)を送信機に取り付けてください。確実なシフトエンジンができるないときヤボックス内部の部品が破損します。
- シフトゲートAはTROP.5オートサポートレッグに付属しています。取付方法はTROP.5説明図を参照してください。

《スティックの長さ調整》

●コントロールスティックは好みの長さへ調整が可能です。(B)部をつまんで保持した状態で(A)部を反時計回りに回します。続いて(B)部を回転させ(A)部に合わせ、反時計回りに回して固定します。



これだけは守ろう!

《スイッチの入れ方》

1. ON

(送信機スイッチ)



2. ON

(受信機スイッチ)



《スイッチの切り方》

1. OFF

(受信機スイッチ)



2. OFF

(送信機スイッチ)



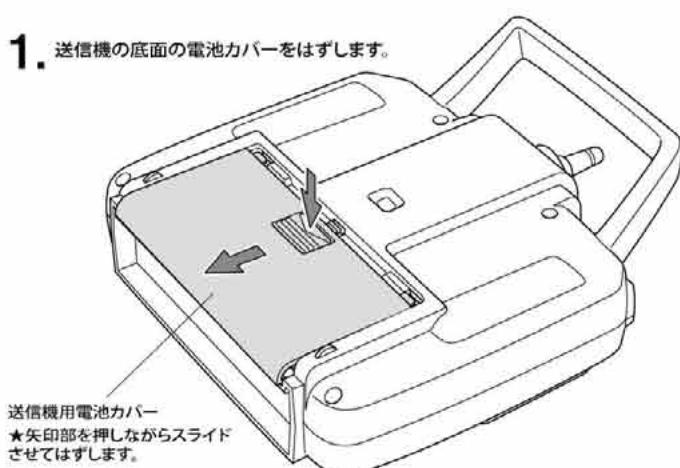
送信機の電池の入れ方



電池交換をするときは、すべて新しい電池にしてください。

1本でも減った電池があると、発信する電波が弱くなってコントロールがきかなくなります。

1. 送信機の底面の電池カバーをはずします。



送信機用電池カバー

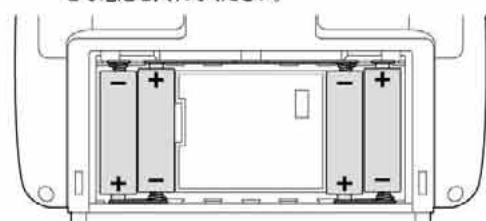
★矢印部を押しながらスライドさせてはずします。



単3形電池4本

⚠ 電池一本につき1.5Vを超えるものは使用しないでください。

2. 電池ボックス底面に描かれた電池の向きにあわせて電池を入れてください。

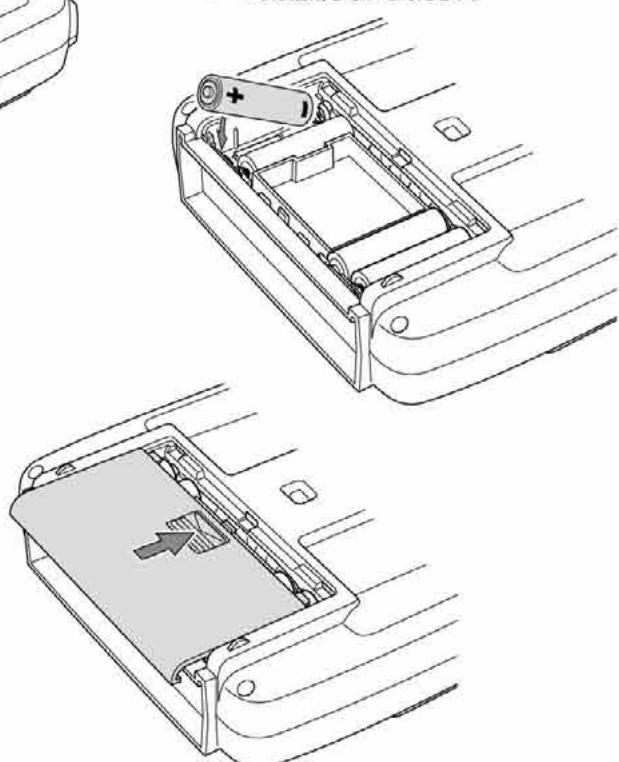


⚠ 電池のプラス、マイナスの極性を間違えると送信機が破損します。

古い電池と新しい電池、また種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。

3. 電池カバーを取り付けます。

⚠ 走ったあとは、必ず電池を取り外してください。



コントロール (トレーラーモデル操作例)

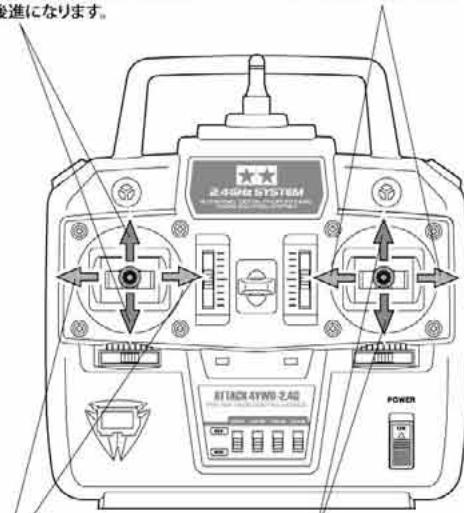
※RCタンクなど車両によっては操作方法が異なります。車両キット付属のオペレーションマニュアルやコントロールユニットの説明書を参照してください。

●スロットル(CH.2)

車の停止、前進後進のスピードコントロールの操作を行います。
ニュートラルで停止、前に倒すと前進、後に倒すと後進になります。

●ステアリング(CH.1)

スティックを左右に倒してRCカーの方向を変えます。倒す角度に応じてステアリングの舵角が変わります。

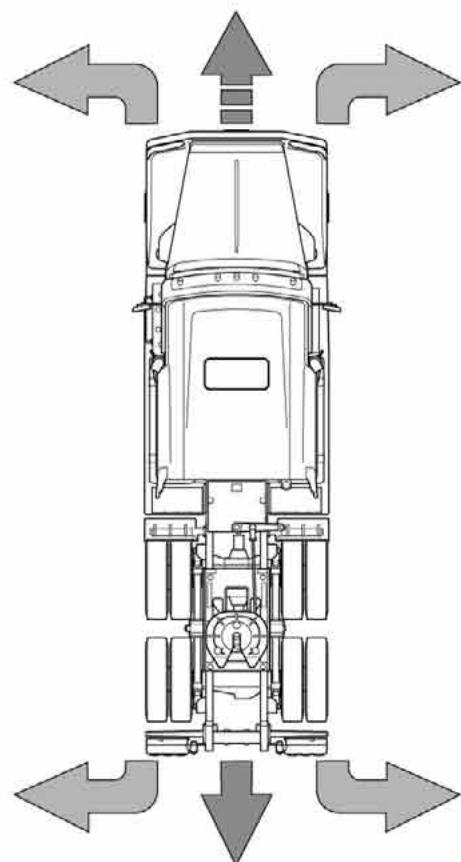


●シフトエンジン(CH.4)

スティックを左右に倒すことできやエンジンを行えます。

●オプション操作(CH.3)

スティックを上下に倒すことできやエンジンを行えます。



ニュートラルの調整 (トレーラーモデル操作例)

●スロットルトリム

スティックを操作しないのにRCカーが停止しない場合は、スロットルトリムを上下させて調整します。RCカーが前進する場合は、トリムを下に、後進する場合はトリムを上に動かして調整します。

●シフトエンジントリム

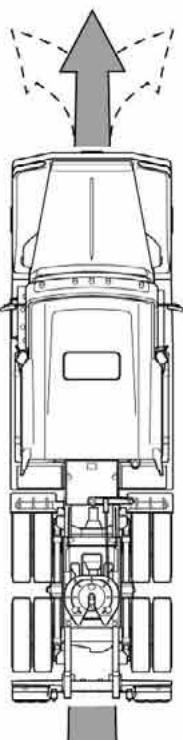
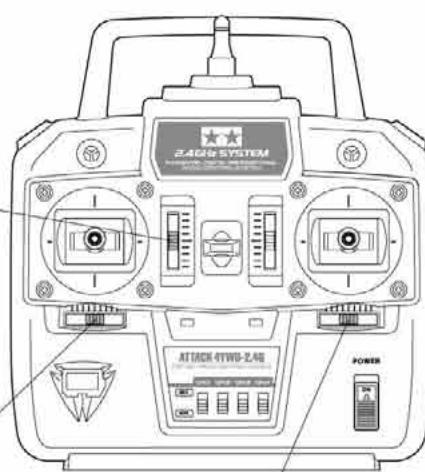
トランミッショのシフトフォークの位置が合わない場合は、シフトエンジントリムによって調整します。

●ステアリングトリム

スティックを操作しないでRCカーがまっすぐ走らない時はステアリングトリムで調整します。RCカーを走らせ、左に曲がるようならトリムを右に動かし、右に曲がるようなら、トリムを左に動かしてまっすぐ走るように調整します。

★トリムレバーはシフト操作やオプション操作をする場合にも使用します。車両キット付属のオペレーションマニュアルやコントロールユニットの説明書を参照してください。

★フルオペレーションシステムの場合、トリムレバーによるCH.3とCH.4のニュートラル調整はできません。



走行させるときの手順

★プロポの基本設定

RCモデルを浮かせた状態で作業してください。タイヤ等が接地した状態で操作すると、調整がうまくいっていない場合不意に暴走する可能性があり、危険です。

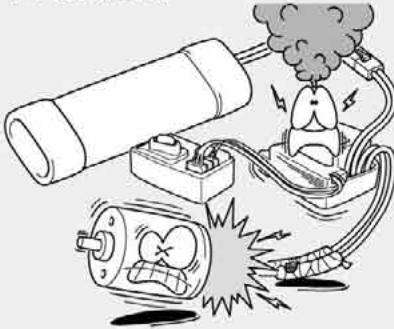
1. 送信機用電池、受信機用電池をセットします。
2. 送信機、受信機の順にスイッチを入れます。
3. スロットル、ステアリングスティックを操作し、RCモデル各部の動きを確認します。必要ならばトリムで調整をしてください。
4. RCモデルを走行させます。
5. 走行を終了するときは、受信機、送信機の順でスイッチを切ってください。
6. 送信機の電池、また走行用や受信機用の電池も外します。

★この手順は必ず守ってください。

次のようなことはしないでください。
ESCがこわれます。

●配線コードのショートをさせない。

コードのビニールがむけてしまった場合は、ビニールテープをまいて中の金属線をカバーしてください。

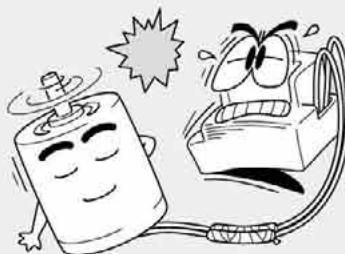


●コネクターのつなぎ方に注意。

コネクターはつなぎ方の向きが決められています。つなぎにくい時は無理におし込みますに向きを確かめてください。向きをまちがえて無理におし込むとESCをこわします。

●改造しない。

指定以外のバッテリーやモーターにつけかえるのはやめてください。ESCがこわれます。配線コードやアンテナ線を切ったり、ESC、コネクター、サーボを分解したりするのはショートや故障の原因になりますのでやめてください。

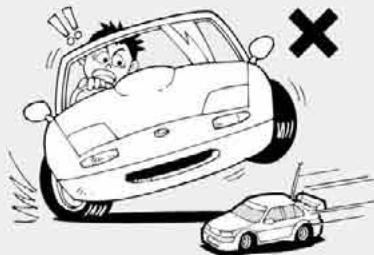


●取り扱いに注意。

ESCやサーボ、送信機には精密な電子回路がおさめられています。内部に水が入ったり、湿気をおびたりするところがえます。また落としたりしないように扱ってください。

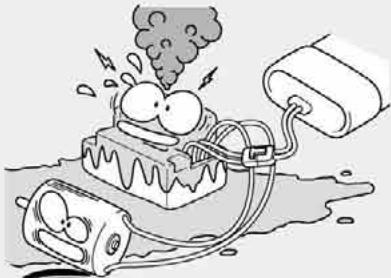
変形や故障の原因となります。

- 極端に暑いところ(40°C以上)や寒いところ(-10°C以下)
- 直射日光のあるところ
- 湿気の多いところ
- 振動の多いところ
- 埃の多いところ
- 蒸気や熱があたるところ
- 小さな子供の手の届くところ



保存する時の注意

次のような場所には保存しないでください。



●ESCのヒートプロテクトがはたらくと車は走らなくなります。

無理な走らせ方をした場合、ESCがこわれるのを防ぐためにヒートプロテクトがはたらいて、一時的にモーターに電気を流さないようにします。

●ヒートプロテクトがはたらいたら。

走っていた車が突然止まった時には、ヒートプロテクトがはたらいたことが考えられます。(この時はESC上部の放熱板が熱くなっているのでさわらないでください)すぐに受信機スイッチを切り、原因を調べ故障箇所を修理してください。15分ぐらいしたら受信機スイッチを入れてください。車は走るようになります。

《ATTACK 4YWD-2.4G スペック》

送信機 : ATTACK 4YWD-2.4G

操作方法 : 2スティックタイプ 4チャンネルシステム

送信周波数 : 2.4GHz帯

使用電源 : 6V(単3型電池4本)

使用電流 : 100mA

受信機 : R204GF-T

受信周波数 : 2.4GHz帯

使用電源 : 4.8 - 7.4V

使用電流 : 130mA(停止時)

寸法 : 35 x 23 x 9mm(突起物を除く)

重量 : 6g

★ATTACK 4YWD-2.4G送信機とR204GF-T受信機はFHSSシステムを使用しており、FASSTシステムとは互換性がありません。同システム以外の組み合わせでは使用しないでください。

受信機用電源として乾電池を使用しないでください。

★この規格や仕様は技術開発に伴い予告なく変更する事があります。

万一不良、不足部品などありましたら、当社カスタマーサービスまでお問い合わせください。

★修理依頼されるときは。

もう一度説明書をお読みいただき、チェックしてください。故障状況を詳しくお書きいただき、製品と共に当社カスタマーサービスまでお送りください。症状がわかることで、修理が早くされます。

株式会社タミヤカスタマーサービス
《お問い合わせ番号》

静岡 054-283-0003

東京 03-3899-3765
(静岡へ自動転送)

タミヤインターネットホームページアドレス

www.tamiya.com



TAMIYA

株式会社タミヤ
〒422-8610 静岡市駿河区恩田原3-7